

平成26年度（2014年度）第2回池田市図書館協議会会議録要録

日時：平成26年11月23日（日）午前10時～12時

場所：池田市立図書館2階会議室

出席者：（委員）石田会長、岡村副会長、牛嶋委員、藤原委員、彭委員、丸山委員、
伊東委員、山田委員、上垣委員、佐藤委員
（事務局）阪本教育部長、加藤図書館長、東本石橋プラザ館長、他職員4名

傍聴者：なし

委嘱式

委嘱状交付、挨拶（阪本教育部長）

議題 1. 図書コーナーの利用状況について
2. 平成26年度図書館運営について
3. 図書コーナーの見学
4. その他

配布資料 ・ 役員選出
・ 平成26年度下半期の図書館運営について
・ その他

（議事進行は会長が選ばれるまで事務局が務める。）

事務局 ・ 協議会公開条例の説明 今回、傍聴希望者なし
役員の選出ですが、会長、副会長を委員の互選で決めて頂きます。初めての委員さんもいらっしゃいますので、それぞれ自己紹介をお願い致します。

委員自己紹介

事務局 それでは、会長、副会長の選出に移ります。推薦頂ける方、ご意見等がございましたらお願いします。

委員 会長には石田先生。

委員 私も第17期の会議を円滑に進められた石田先生に会長を、副会長には岡村先生に引き続きお願いできればと思います。

事務局 今、引き続き会長に石田先生、副会長に岡村先生をお願いしてはという意見がありました。皆さんいかがでしょうか。特に反対意見等がなければ…

よろしいでしょうか。先生どうでしょう（はい）（委員、拍手）

それでは、会長は石田先生、副会長は岡村先生に引き続きお願い致します。

（会長、副会長それぞれ席を移動し、挨拶、以後議事進行する）

会 長 議題の2番目、平成26年度下半期の図書館運営について事務局から説明をお願いします。

事務局 議題に入る前に事前にお配りしました「池田市の図書館活動」についてご説明させていただきます。(事務局説明)

会 長 資料を見ていただいて、質問等があればお出してください。

委 員 図書コーナーの利用は増えていますか。

事務局 増えております。貸出しが月平均約7,300冊、利用者数約2,750人の利用があります。段々と増えております。7月頃は1,800人ぐらいでしたが、10月には3,200人で徐々に定着しています。高齢の方や、小さなお子さん連れのお母さんの利用が多いようです。

委 員 移動図書館のステーションが変更されましたが、利用はどうですか。

事務局 ハローワークの利用者は、図書コーナーを利用されていると思われます。6月以降、伏尾台北公園、十二神社などの利用が増えてきています。

委 員 新しいステーションで時間どおりに運行できているかはどうですか。

事務局 第3コース最終の呉服小学校は、その前が細河方面なので移動距離が長く交通状況の影響を受けるが、今のところ大きく遅れるようなことはなかった。

委 員 先日のご説明で図書館が週1の休館日を無くす体制になるということでしたがそのことについては、すでに委員会で議論されたのでしょうか。案件ということでしょうか。

事務局 今はまだ見込みですが月1回の休館になるのは「石橋プラザ」で、今後本館もということが出てきたらということでした。

事務局 あくまでも予定ですが、来年4月より石橋プラザの利用拡大という方向で進んでおります。

会 長 住民サービスでいつでも図書館が長い時間開いている。「いつでもどうぞ」という形になればいいのですが、そのためにはお金も掛かることですから、難しい問題もあり、決定ということではないので、また報告があると思います。

これから少子高齢化がますます加速していく中で、高齢者の居場所作りということも視野に入れて運営を考えたらいいのでは、と思います。誰もが利用できるというのがベストですが。

委 員 図書館の役割も変わりつつあります。その地域の敬老会館の役割になっている。予算を獲得するにはその辺をPRしていけばいいと思う。

事務局 石橋プラザは市民サービスコーナーもありますので、利用者も多く来られると思います。

委 員 インターネットでの予約やステーションでの受け取りなどの利用状況を報告して下さい。

事務局 インターネット予約は、どんどん増えています。比率的には、予約の半分以上です。

委 員 私が協議会の委員になった頃は3分の1程度でしたが、今は半数をこえて、これからも増えていく状況で、他市の例を見ますと公民館の利用が週に2、3度行

われており、ステーションの拡充をぜひお願いしたい。ステーションの利用時間の長さも含めて視野に入れていただきたい。

事務局 池田駅前のサービスポイントを今年度限りで廃止する予定になっています。そういう面では逆に利用されている方には不便になるかもしれないと危惧はしております。中央公民館の中に図書コーナーができ、図書館と同じ内容の利用ができます。サービスポイントは予約の貸出しや返却はできるがそれ以外のことはできません。移動図書館でたとえば呉服小学校に行っていることもあって、サービスポイントは今年度限りでなくなります。

委員 池田市内には市の施設が小中学校を含めてたくさんあります。住民の方が身近なところで図書館が利用できる。移動図書館で回ってきてくれるのも結構ですが、施設を常時利用できないか。防犯上等の問題もありスムーズには進捗しないと理解した上で、インターネット予約との関連も含めて拡大の方向をお願いしたい。

委員 興味深く聞かせて頂きました。ティーンエイジャーの利用拡大に繋がることだと思いました。私はインターネット検索のヘビーユーザーで、疑問に思ったことがすぐその場で検索できるということがあります。ITを使ったスキルというものが、今の小中学生は非常に高い。スマホ、携帯に馴染んだ方々がそういった検索の仕方、利用の仕方をたぶん知らないのではないかなと思う。7日間フルオープンユーザーサービスの拡大、先の委員の敬老会館的活用で高齢者のためのサービスというところに重きを置くのであれば、逆に費用もかからないことだと思うので、インターネット検索を利用していただくような啓蒙活動を学校等でやっていくのも一つのアイデアかと思います。

会長 何か行政の方でそういう啓発をする考えはありますか。

事務局 ちらしにあります「大人のための図書館見学」というものを計画しています。情報検索というのが、グーグル等で検索するのはいいのですが不確かな情報が氾濫しています。例えば、調べる事柄でどういうデータベースを使ったらいいか。グーグル検索では出てこないものもありますので、上手な検索の仕方などや図書館のパソコンを使いながら利用方法も体験していただきたいと思っています。

委員 学校図書館も検索機能の拡充ということで、教育センターが中心になって市内でひとつのシステムを取り入れることが進んでいます。一番のネックは各小学校の学校図書館を結んだところで蔵書数が限られているので、市の図書館とリンクして、学校図書館と市図書館との連携を拡充していただきたいと思います。

事務局 若い世代にスマートフォンが普及しており、ツイッターとかフェイスブックとかを利用されている方が多い。そういう若い層にむけてツイッターを始めました。どんどん情報を流していく取り組みを始めております。

会長 高校、大学生の利用が少ないということで、他市の情報はどうなのか。

事務局 どの図書館もその年代が少ないかと思う。

会長 他市では何か方策をとられていますか。情報がありましたら次回にでも紹介してください。

委員 ひとつは自習室の拡大ですが、もういっぱい隣の資料館にはスペースがある

のか。

事務局 展示スペースだけです。

委員 自習室がちょっと狭い。

事務局 ここは他市にくらべて広い方です。ただ、自習だけで終わっているので図書の方も利用されるような企画をやっていきたい。

委員 この世代は、携帯電話で調べものをしている人が多い。

会長 自習室は、よく利用するけど図書の方には流れてこない。

事務局 伊丹市立図書館では、YA（ヤングアダルト）コーナーがあり、市内の高校生が運営していました。高校生のつながりと呼び込み、クラブ活動の紹介の展示など、高校生の委員が工夫してYAコーナーづくりをしていました。当館でもスペースがあればやってみたいと思っています。

委員 小・中学校、高校でインターネットを経由して、図書館にアクセスできるということを啓蒙するためにプリントを配るような取り組みは、行われていますか。

委員 今、中学校校区で小中一環教育の取り組みでいろいろな情報交換を進めておりますが、学校図書館についてはかなり遅れています。学校独自に学校図書館の検索をシステム化していった所はありますが、市内に広がって行かなかったということで、統一した方法で広めていくため教育センターが中心になって取り組んでいただいているが、まだ充分広がっていない。そのため、子どもと図書館がネットで情報をやり取りする状況になっていない。それができたとしても低学年では難しい。段々にできるように学校図書館司書を配置していただいている。司書の方と図書館と連携して、ネットで繋がっているということを読書の時間話してはいるが広がって行かない。

委員 池田市の学校図書館は、全校に司書は配置されているが、これは府下においても大変恵まれております。司書がいるから学校図書館が機能できているのですが、図書に限られており、その中でも内容の合わない図鑑など多く廃棄しなければならないものもあり蔵書に困窮している現状にあります。学校間の連携はできているが、お互いに少ない。その連携の中に市の図書館も加わってほしい。ネットで繋がれば可能だと思うが、どのようにして貸出しや返却をするのかという問題がある。他市には市内の巡回するルートをもつところもあるが池田市にはまだできていない。

委員 子どもが社会課の授業で「韓国のことについて調べよう」と課題があったのですが、実際に調べはじめると本が2人に1冊あるかないかということで、授業中にできないところは「家でやってきなさい」ということになり、後日の参観で提出してないことでわかった。グループワークの中で資料がなくて調べ物ができない、せっかく司書さんがいてくださっても資料がないことが非常に残念でした。市の図書館と連携ができて、すぐに取りにいつてくれるくらいの対応ができれば、「図書館の本を借りてきてくれたんだ、また、違う本を図書館で借りてみよう」というようになるのではないか。今までの概念の図書館ではなく必要な資料が手元に届くようなルートが必要ではないか。

委員 大学間ではそれができている。全国どこの大学でも蔵書を送料は自己負担で取り寄せることができます。池田市と全国の市でそういうことはできていないのですか。

事務局 現在、相互貸借で多くの図書館から取り寄せは可能です。送料は図書館負担になっており予算の限りがあります。ただ、府下であれば無料の府立図書館による各市巡回通送便があり、ほとんどそちらで補っております。他府県になると送料がかかります。

委員 市内の学校を回っている巡回車も活用し、スピード感のある本の貸し借りできたら、もっと子どもたちも授業しやすいと思う。

事務局 調べ学習に必要な資料に関しては、市の連絡便を使って早ければ翌日には学校に届くシステムになっています。

委員 大学では、コピーを送ってもらうこともできる。

事務局 それもやっています。

委員 中高生が図書館にアクセスして本をインターネットを経由して予約して、立ち寄るだけ借りられるということを知らないという現象かと思う。

委員 各学校で同じ課題をするのだから、資料がかぶらないようにスケジュールを組んである程度の数が確保できる担保があればスムーズにできるのでは。資料がないからネットでコピーではダメだと思う。司書の先生に相談して、資料から自分で調べる学習が必要だと思う。

会長 今は、大学生も本で調べものする傾向にはないと思う。インターネットでやれば簡単に色んな情報が手に入る。これも中高生の活字離れに繋がっている。

委員 学校では、担当の先生と司書が相談して、事前にわかっているものは資料として集めています。「団体貸出」も今のところ月に1回なのでかなり前に計画をしていますが、課題も多いのが現状です。

会長 今は小中学校にパソコンルームがありますが、授業で40人のクラスで1人1台使えるようになっていきますよね。

委員 PCルームにパソコンを備えているが、モラルの問題があり子どもたちがフリーに使えることではない。子どもたちに被害も加害も出さない環境のため、自由に他とアクセスできる環境にはまだなっていない。子どもを守りながらアクセスできる環境を研究する必要がある。

委員 パソコンを使った情報と活字の図書館が別個という形ではなく、先進的な学校図書館というのはパソコンルームの隣に学校図書館があって情報センターの形になっている。一時的な情報をとるのにはPCの方が早くて大量の情報を得られるが体系的なものをじっくりとやっていくには「本」ということになってくる。情報教育ではそれでいいが、「心を耕す」というのは図書館となる。図鑑などの必要な情報だけをみる「部分読み」と物語的、ドキュメンタリー的なもの読む「一冊読み」の両方に対応が必要で、「調べ学習」に目が向きやすいが、活字離れに対応するには「心を耕す」ための活用が大切だと思う。

委員 本を読むというのは、学校教育や調べるということ以外に個人の趣味、嗜好と

して継続的に生涯を通じてのものだと思う。それがティーンエイジャーのところで途切れてしまう。読み聞かせの幼児、低学年の世代は充実しているが成育の大事なティーンエイジャーの時期に離れてしまっていて、本を自分で選んで楽しむという経験が少なくなっている。自分は学校の科目で本を読まされるのは苦痛であったので、そうではないようなアプローチで本に接することができればティーンエイジャーも目を向けてくれるのではと思う。図書館でのビブリオトークに参加したが、そこに中学生も参加しており、自分の好きな本を紹介していた。学校の勉強ではないルートで本を自分で選んで、気に入って他人にも紹介したいという人を大事にしたい。例えばビブリオトークのティーンエイジャー版みたいなものを開いてリラックスした場で「お茶でも飲みながら、好きな本についておしゃべりしましょう。おしゃべりしなくても話を聞いているだけでもいいですよ」というようなことで将来的にも長く本を楽しんでいけるような人になってくれるじゃないかなと思う。

委員 今年の協議会の目的と言いますか、前期は、「民営化」についての答申をまとめるというのが大きな目的になっていた。今回の目的、どんなことについてこれから2年間話し合っていくのかということを知りたい。

会長 今日の議題が「平成26年度の下半期の図書館運営について」となっていますので、事務局の方からご説明ください。

事務局 レジメにありますが進捗状況を簡単に説明いたします。14期が出した「答申」に基づいた1項目「本や資料が充実し市民が求める……」、4月に図書コーナーができ、ティーンエイジャー向けの「YA」のコーナーを設け、1,100冊あまりの本をおいています。それをいかに生かしていくのが課題。企画では12月に「中学生によく読まれている本」ということで各中学校にアンケートを取り、リストを出してその本を展示し、中学生に興味をもってもらうことを企画しております。それに合わせて各中学校に図書コーナー案内を掲示する予定です。宅配サービスは、現在5人の方が利用している。障がい者サービスとして「手話講座」を今年も続けて月1回開いております。「点字講座」も2回開催しております。

広域利用では、平成24年度から試行が始め今年度末で試行期間が終わり、27年4月から本格実施となります。更に、現在川西の中央図書館との連携を協議しているところです。広域と同じレベルで川西の中央図書館だけですが、池田市民が利用できる。逆に川西市民が池田の図書館、図書コーナー、石橋プラザを利用させていただくという連携を進めております。早ければ来年3月ぐらいから広域利用の試行が始まる予定です。

あと12月に「大人のための図書館見学」を実施します。初めての試みですが、ホームページの使い方が判らないという方がおられますのでホームページを開き「こういう利用ができますよ」ということで宣伝していきたい。また、ティーンエイジャー向きや子ども向きについても考えていきたい。

3番目ですが、乳幼児向きのおはなし会を本館で月1回開くことになりました。

図書コーナーでは中央公民館の部屋を借りて不定期ですが開催しております。

学校図書館の蔵書支援の強化は、毎年学校向けの図書を購入しており、今年度は50万円の予算で、小学校、中学校の主に調べ学習向きの本を各学校からリクエストを頂き購入しております。ネットワークについては図書館との連携が課題となっています。

4番目の「市民がワクワクしながら集い出会う楽しい図書館」では、参加型の行事の実施ということで、ビブリオトークや音読会、「パパ&キッズおはなし会」としてお父さんに絵本を読んでもらうものやスタンプラリーなどの参加型の取り組みを実施しています。

会 長 17期で「民営化」をめぐるのは是非についての「答申」ということがあり、それを受けて以前から「飛べ！丘の上の図書館 池田市立図書館への提言」の実現化をどうしていくのが18期の大きな役割かと思えます。今後、年間3回から4回、この協議会が開かれるということですので、大きな計画を立てていただくと次回の議題や報告という形が出来やすい。今日は顔合わせということと18期のスタートであり、25年度の統計を元に報告を受けて、現状の理解ということだったのかと思う。事務局の方で、いつの時期に何をするかという大きな議題内容を考えていただきたい。

事務局 逆にいいますと、どういう議題で皆さんにご意見を聞いたらよろしいか。

会 長 どんな内容にすべきかをお聞きしたいと思います。

委 員 年齢のレイヤーで区切っていくと一番課題があるのはティーンエイジャーのところにあると思う。3回の中で一番最初に取り組まなければならないのはティーンエイジャーにどういう情報発信をして図書の利用を進めていくのかと、インターネットのリンクのアクセス領域をどう上げていくかということをやっていかなくてはいけない。次の2回でフォローしていく形かなと思う。2つ目は、図書のストック・フローについてです。図書館で大きなストックを作ったとして、それを小学校、中学校、高校にいかにか効率よくフローしてどう流してかというのが2回目の取り組みになるのかと思う。3回目は、利用者拡大、「大人の図書館見学」を含めて利用者増のイベント型をどうやってやるか。小中学生は塾などで忙しくて来れないと思う。夏休みに自習に来る場所というイメージしかないと思う。それをイベントとかで大人を巻き込んでいくかを1、2、3でやったらどうか、あるいは1、2、3並列で3回の会議の中で進捗をフォローしていくのがいいのかと思う。

委 員 「市民がワクワクしながら集う楽しい図書館」で図書館で何か楽しいイベントをする。PRをする。ユニークなイベントで図書館をPRする。

委 員 3番の「学校・地域との連携」とあるが地域との連携についてがない。図書館から外に出て協力を頂いていますので、実績として書いてアピールいただいてもいいと思う。

会 長 事務局の方であとの年間計画みたいなものを整理していただけますか。

委 員 基本的には「池田市立図書館への提言」が順調に進捗しているのかどうかが一

番のベースとなってこの協議会の話をしていく。思ったほど進んでいない点についての持ち上げ方、逆に進んできている部分に関しては、それを池田の図書館の特徴としてさらに広めていく提言というか、皆さんの意見をまとめていくコンセンサスとして委員の皆さんがおうちで、それを進める上での中身として事務局の方がこういう内容をお知らせくだされば、我々も考えやすくなるなと思います。

委員 提言は企業でいう中期計画的なものなので必ずそれに対して結論がないままにその次には行けない。

会長 以前、各項目の実施状況の一覧表にしたものがあったと思う。そんなものも参考にして、提言の内容が実現していくようにしたい。「その他」は先に報告いただきましたので、次回の日程を決めさせて頂きたいと思います。

事務局 2月15、22日ぐらいでどうでしょうか
(都合ありの委員複数有)

会長 3月1日はどうでしょうか。

事務局 3月1日(日)10時からということでよろしく申し上げます。